

問 以下の文章は、「働き方改革」に関する新聞記事の一部抜粋です。記事の内容を参考にしながら、労働環境の改善に必要なことについて、あなたの考えを700字～800字で述べなさい。

### ■労働の「見える化」

I T関連企業の日本オープンシステムズ北陸事業所（富山市）では、毎朝チームごとに朝会を開き、その日の予定を報告し合う。朝会后、残業を予定している社員は、それぞれのスケジュールが書き込まれたホワイトボードに3色のマグネットのいずれかを貼り付ける。マグネットの色は残業予定時間を示しており、赤色は2時間半以上、黄色は2時間以下、青色は1時間以下という意味だ。

「労働の見える化」として昨春から始めた取り組みで、昨年度の月平均残業時間は、前年度より1人あたり10時間程度減ったという。同社北陸・長野地区本部長の飯森敏彦さん（62）は「協力して働く雰囲気ができ、効率も上がった」と語る。

### ■全国7位の長さ

国の調査によると、県内の労働者（事業所規模5人以上）の2016年の年間総実労働時間は平均1822時間。全国平均の1724時間を100時間近く上回り、全国7位の長さだった。製造業は労働時間が長くなる傾向にあるが、製造業の従事者が4分の1を占める本県の特徴が影響したとみられる。

こうした長時間労働を是正しようと、県は7月、育児に理解のあるボス（上司）の略称「イクボス」を宣言した100の企業などからなる「イクボス企業同盟とやま」を設立した。仕事と育児の両立を図り、長時間労働を見直す機運を高めるのが狙いだ。11月には先進的な事例を共有する会議を予定している。〔中略〕

### ■女性活躍への課題

10年に66万5000人だった県内の生産年齢人口（15～64歳）は、40年には43万5000人に減少すると予測されている。経済の担い手として女性の役割がますます大きくなる中、女性が働きやすい環境をいかに整えるかが課題だ。〔中略〕

内閣府が14年にまとめた「女性の活躍推進に関する世論調査」によると、「女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために必要なこと」は、多い順に、〈1〉保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備 〈2〉女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革 〈3〉男性の家事参加への理解・意識改革——だった。「女性活躍社会」を実現するため、官民が取り組むべき課題は多い。〔以下省略〕

【出所】「衆院選 争点ルポ 働き方改革 長時間是正 道半ば」『読売新聞』2017年10月19日付朝刊、33頁より一部抜粋。